

2022年12月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+9.2	立 川 店	+0.9
堺 店	△1.8	大 宮 店	△6.1
京 都 店 ※	+5.6	柏 店 ※	△4.2
泉 北 店	△0.2	(株)高島屋各店計	+4.9
日 本 橋 店	+5.4	岡 山 高 島 屋	△5.1
横 浜 店 ※	+1.1	岐 阜 高 島 屋	+3.2
新 宿 店	+17.0	高 崎 高 島 屋	△1.3
玉 川 店	△2.6	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社計	+4.6

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※ 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

■ 概況

○12月度の店頭売上は、ラグジュアリーブランドを中心とした高額品が好調であることに加え、

訪日外国人の増加による免税売上の押し上げ効果もあり、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比	+4.6%	2019年比	△0.1%
免税売上	前年比	+366.9%	2019年比	△9.8%
免税を除いた店頭売上	前年比	+0.7%	2019年比	+0.5%

○店舗別売上では、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、立川店、岐阜店が前年実績を上回りました。

○商品別売上(当社分類による15店舗ベース)では、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、スポーツ、食料品、食堂が前年実績を上回りました。

以 上